# 地域完結型に役割多様化

病院薬剤師の役割は、入院患者に寄 り添った薬剤管理、医療チームスタッ フへの情報提供など、病棟業務の比重 が大きくなっている。今後、介護を含 め病院完結型から地域完結型へと医療

制度が移行する中、病院薬剤師の役割 は地域とも関わり、多様化すると予想 される。日本病院薬剤師会理事の折井 孝男氏(NTT東日本関東病院薬剤部 長) に話を聞いた。



## データ作りが未来拓く

折井氏は「保険薬局の薬剤師もいる が、キーワードとして『チーム医療』 がある。院内でのチーム医療、病院と 保険薬局とのチーム医療など相互の 連携が必要になってきている」と語

病薬に限って言えば「病棟などで全 ての職種と患者さんのために取り組む

が、われわれにとっては薬がキーワー ド。患者はもちろん、他の医療スタッ フに対し、情報提供や収集し、ゴール である適正な薬物療法につなげてい る」と語る。

特に情報提供に関しては、「例えば、 新薬が出たときは、その薬のセールス ポイントや使い方、副作用とその可能 性などの情報を提供する。また、その 薬の監視をすることも重要。例えば副 作用情報であれば、病棟で拾ってきた シグナルを内部で検討、既知のものか 未知のものかを調査。結果によっては 国に報告する」と語る。

さらに、「最終的には、例えば副作 用情報を収集、評価、検討し、再度、 伝達するというPDCAサイクルがきち んとできなければならない。できれば 定量化し、業務に反映させる。それは 薬剤部としての業務の質を高める貴重 なデータになる」と語る。

その上で折井氏は「大学で習ったこ とを医療現場で生かせるような術を身 に付けてほしい」と訴える。「習った ことを、そのまま患者さんに返しても 分からない。個々の患者に合わせて情 報提供することが大切。そのことを意 識して学んでほしい」と語る。実務実 習の場でも、「言われたことだけする のではなく、『自分だったらこうする』 といったように考えながら取り組んで ほしい」とも語る。

最後に、就活について一言。「なか なか希望に合った施設にたどり着くの は難しい。学会等に参加、先輩の話と 生の声をよく聞くことが大切。そして いろいろなつながり、ネットワークを 学生のうちから築くことも必要では」 とアドバイスする。

## ^救急・集中治療 。に挑む

### 各分野での経験踏まえ

2014年4月、千葉県外房地域の山武長牛夷隅医療 圏で第3次救急医療を担う地方独立行政法人東金九十 九里地域医療センター・東千葉メディカルセンターが 開院した。ハイスペックの設備・機器を配備し、災害 拠点病院としての機能も有する。フルオープンは16 年で、現在もハード・ソフト両面での準備が進められ ている。同センターオープニングスタッフの一人、篠 﨑浩司さんは、「薬剤師になって10年が経過。救急・ 集中治療分野、癌や感染症分野でもっと知識を付け、 さらに深く携わっていきたい」と語る。

篠﨑さんは02年に星薬科大学を卒 業、同大博士前期課程に進み04年に 修了。その後、慶應義塾大学病院薬剤 部、帝京大学ちば総合医療センター薬 剤部を経て、開院前の14年1月から 東金九十九里地域医療センター東千葉 メディカルセンター薬剤部に着任。現 在は、救急・集中治療分野を中心に活 躍している。

そもそも篠﨑さんが病院薬剤師を目 指したのは、「病院では、薬剤部内で

さ の調剤や薬品管理などの業務に加え、 病棟での薬剤管理指導や病棟薬剤業務 を通じ、他の医療スタッフと協働して

浩

識や技能を習得できる」と考えたから という。 卒後、数施設を経験しているが、「大 学病院での薬剤師業務は非常に多岐に わたり、幅広い知識や技能を習得でき

るため、当初の就職先として大学病院

患者さんの治療に深く関われる。これ

ら業務を通じて薬剤師として幅広い知

を選びました。その後は、培った知識、 技能を生かし地域医療に貢献したいと 思い、東千葉メディカルセンターが新 規開院するのに合わせて現職場に就職 しました」と語る。

さらに「これまでに一通りの業務を 経験し、DI室や注射調剤室の責任者 も務めました。特にDI室では医薬品 情報の扱い方を学べ、薬剤師としての 知識を育ててくれました。それらを踏 まえ、現在は救急・集中治療領域にお ける病棟専任薬剤師として、他のスタ ッフと協働し患者さんの薬物療法に貢 献しています」と語る。

具体的には「肝機能・腎機能などの 臓器障害や凝固系異常、水分貯留など の薬物動態に変化のある患者さんが多 いので、薬剤師の視点から投与量設定 や薬剤選択を提案し、適正な薬物療法 が行われるよう努めています」という。 さらに「その結果、患者さんの薬物療 法に貢献できることに、非常にやりが いを感じています」と語る。

篠﨑さんは最初の10年はジェネラ リストを目指し、様々な分野を勉強。 それ以後は、最も興味を持った分野を 極めようと決めていたという。

実際に「10年が経過した今、現在 業務に深く携わっている救急・集中治 療分野や癌、感染に興味があるので、 もっと知識をつけていけるようこれか らも日々研さんしたい」とさらなる進 化を誓う。

最後に「12年の診療報酬改定によ る病棟薬剤業務実施加算は体制加算で あり、病院薬剤師へ期待の表れとして、 大きな意味があります。同時にわれわ れが試される時でもあり、薬剤師が病 棟にいることの結果を残さなければな りません。その意味では若い世代には 期待をしています。大学では、薬剤師 の基礎である薬学をしっかり身に付 け、われわれと共に病院薬剤師を盛り 立ててもらいたい」とラブコールを送

### 「スペシャリティーファーマ」を目指して。

当社は、日本薬局方が制定された翌年の1888年(明治21年)に、日本薬局方医薬品メーカー として創業いたしました。以来、堅実営業を旨とし、医薬品の研究・開発・製造・販売を通じて 医療の発展に寄与し、健康と福祉に貢献できるよう努力しております。

#### 会社概要

**立** 昭和11年11月5日(創業明治21年) ■ 創

■資本金 2億8500万円 ■ 事 業 所 本社·今津丁場·中央研究所

■社員数 500人 ■ 事業内容 日本薬局方医薬品その他 各種医薬品等の製造販売

#### 募集要項

詳しくはホームページをご覧頂くか以下までお問合せ

- マルイシホームページ
- http://www.maruishi-pharm.co.jp/
- お問合せ電話番号 06-6964-3100 人事部 採用担当

伺 丸石製薬株式会社



〒538-0042 大阪市鶴見区今津中2丁目4号2番

#### Wakunaga

実は、今年植えたニンニクを

「滋養強壮剤」にしてお届けするまで約三年必要なのです。 収穫まで一年、そのあと約二年じっくり熟成しています。 コツコツ時間をかけるからこそジワジワ効果のある製品ができる。 湧永はそう考えています。

第3類医薬品





第3類医薬品

《販売名》レオピンファイブw

**通行製薬株式会社 場際を連ゅの120-39-0971** 私たちは、日専同を応援しています。 http://www.wakunaga.co.jp/